

社会と歯科医療・チーム医療（大学間連携 IT 教育）（3年）

コーディネーター：口腔顎顔面再建学講座（歯科麻酔学分野） 城 茂治教授

第3学年 後期

前期 講義 10.5時間 演習 1.5時間

一般目標（講義）

我が国では超高齢社会の到来により、様々な基礎疾患を有し、薬を服用している患者が、歯科を受診する率が高まっている。また一般医科病棟でも、当該の病気に加えて、口腔機能管理の重要性が増している。さらに、介護が必要な高齢者の増加と共に呼吸器感染症の予防や摂食嚥下機能の維持・回復のための口腔ケア等の重要性が高まっている。

そこで国民の健康に貢献できるオーラルフィジシャン（口腔科医）になるために、医療の仕組みと高齢者に多くみられる全身疾患、口腔症状および多職種連携のチーム医療を理解し、口腔症状への対応の基本をE-Learning（三大学連携 IT 教育システム）を通して身につける。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月22日（月） 4限	城茂治教授 （歯科麻酔学分野）	オリエンテーション 三大学連携 IT 教育の目的、使用設備について理解する。	1. 三大学連携 IT 教育で学ぶ目標を説明する。 2. PC を用いて必要な情報を得る。 3. 電子ポートフォリオを作成する。
10月2日（木） 1限	城茂治教授 （歯科麻酔学分野）	トライアル 三大学連携 IT 教育システムについて習熟する。	1. IT システムに接続できる。 2. IT システムを利用できる。 3. 電子ポートフォリオを作成する。 4. IT システムのトラブルに対処する。 5. IT システムの使用規約を遵守する。
10月2日（木） 2限	岸 光男准教授 （予防歯科学分野）	高齢社会と歯科医療 1 日本の将来人口推計等から今後の日本の医療・歯科医療体系を考える。	1. 高齢化社会について説明する。 2. 高齢化社会と歯科医療について概説する。 3. 高齢者に多く見られる基礎疾患について列挙する。
10月3日（金） 1限	藤村朗教授 （機能形態学分野） 須和部京介助教 （歯周療法学分野）	高齢化社会とチーム医療 1 脳梗塞を合併した歯科患者を通して医療・歯科医療の仕組みと連携を学ぶ。	1. 脳梗塞発症から症状の回復までの一連の医療体制を概説する。 2. 医療・歯科医療の連携と病院におけるチーム医療の基本を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月3日(金) 2限	藤村朗教授 (機能形態学分野) 須和部京介助教 (歯周療法学分野)	高齢社会とチーム医療 2 脳梗塞を合併した歯科患者を通して歯科が担う役割を学ぶ。	1. 脳梗塞の症状と口腔の機能に対する影響を説明する。 2. 障害を持つ患者の口腔ケアの目的と方法を説明する。
10月27日(月) 1限	城 茂治教授 (歯科麻酔学分野) 近藤尚知教授 (補綴・インプラント学講座)	高齢社会と歯科医療 2 高齢者の身体的、心理的特徴を理解し、医療面接時の注意点について学ぶ。	1. 医療面接の目的と方法を説明する。 2. 主訴、既往歴、現病歴の定義を説明する。 3. 医療情報の収集法を説明する。 4. 基礎疾患を有する高齢者での医療面接での注意点を列挙する。 5. SOAP について説明する。
10月28日(火) 1限	小林琢也講師 (補綴・インプラント学講座) 熊谷章子助教 (口腔外科学分野)	高齢者の口腔疾患 高齢者に多く見られる口腔疾患（特に口腔乾燥症）について学ぶ。	1. 唾液の分泌に影響を与える因子について説明する。 2. 口腔乾燥症の口腔内所見について説明する。 3. 口腔乾燥症と基礎疾患との関連について説明する。
10月28日(火) 2限	熊谷章子助教 (口腔外科学分野) 小林琢也講師 (補綴・インプラント学講座)	高齢者の口腔疾患 高齢者に多く見られる口腔疾患（特に口腔乾燥症）の口腔審査法と検査について学ぶ。	1. 口腔内環境・機能検査として、唾液分泌能測定、口腔乾燥度測定、細菌数測定、嚥下機能測定、および咬合力測定を実施する。 2. 検査の結果を評価する。 3. 異常の原因や原疾患を概説する。

成績評価方法

レポート (60%) ポートフォリオ・E-Learning (40%)
--

オフィスアワー

氏 名	方式	曜日	時間帯	備 考
城 茂治	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
近藤尚知	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
藤村 朗	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
岸 光男	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
小林琢也	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
熊谷章子	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。
須和部京介	B-i	月～金	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。メールも可。